

校名：富山大学人間発達科学部附属小学校

所在地：〒930-8556

電話番号：076-445-2803

記載日：28年 5月20日

記載者：原野克憲

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

(1) 学校教育目標

奇跡の星「地球」に生きる、
心豊かでたくましく創造的な人間の育成

(2) 教育方針

- ① 豊かな体験とふれあいの中で、知・徳・体の調和のとれた 全人的な教育活動を推進する。
- ② 自分らしい生き方を実現していけるように、よさを積極的に見だし、自発的・自主的な学びを促し、自信をもてるようにする。
- ③ 子供の個性と創造性の伸長に資するように、基礎・基本の指導の徹底を図る。
- ④ 教師と子供相互の信頼関係を築き、学び合い励まし合うような、明るく楽しい学校環境を整える。
- ⑤ 教師と保護者の信頼関係を深め、学校と家庭のそれぞれの機能を効果的に発揮させつつ、互いに一体となって子供の健全な育成を図る。

貴校の卒業生の活躍状況について：

① 追跡調査をしているかどうか、また、その方法

・していない

② どの程度、把握できているか、また、その情報はどこが持っているか（大学、学校園、その他）

・していない

③ 状況を具体的にお書きください

・特に把握していない。同窓会等の組織はある。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

① 追跡調査をしているかどうか、また、その方法

・していない

② どの程度、把握できているか、また、その情報はどこが持っているか（大学、学校園、その他）

・していない

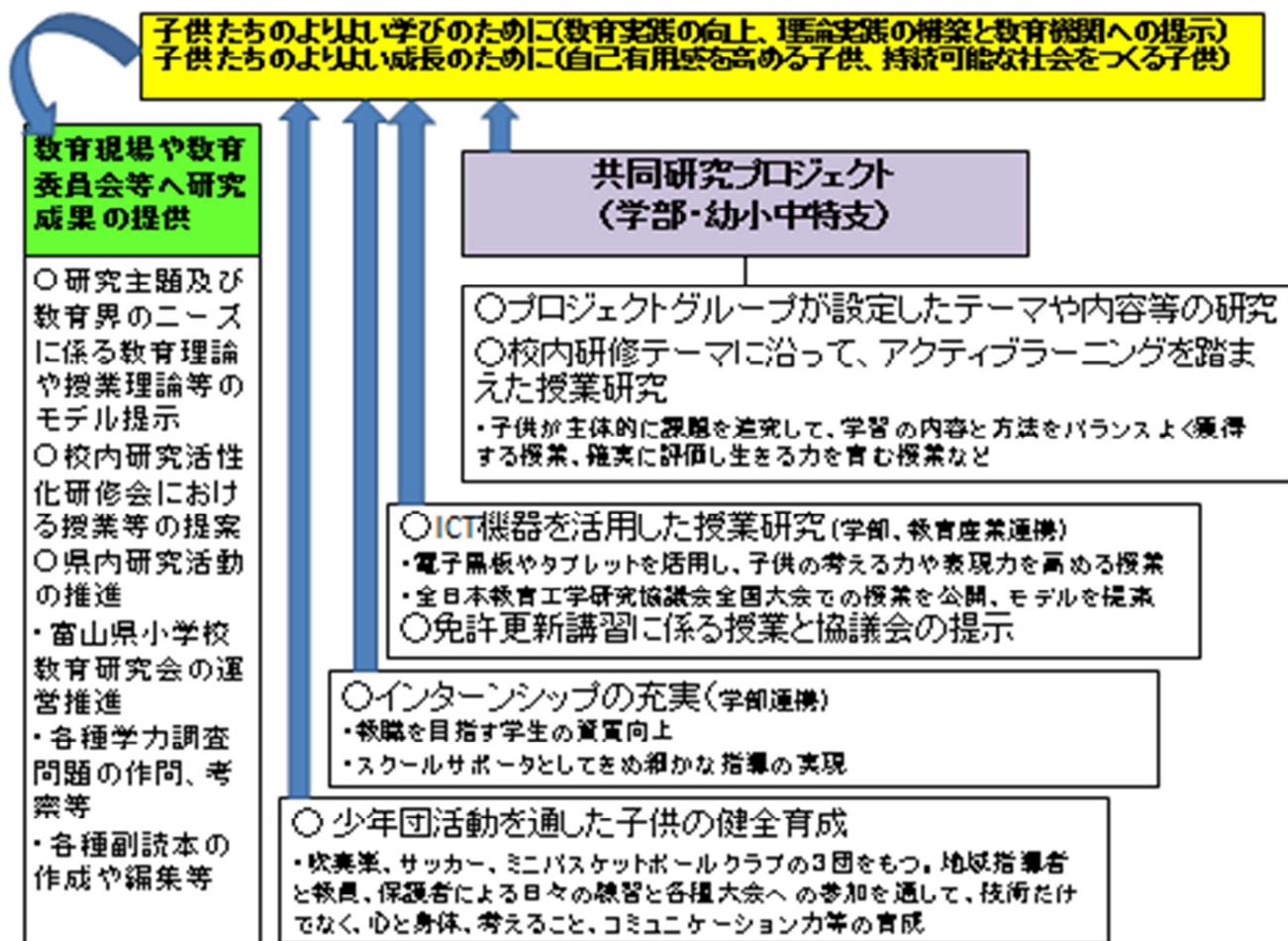
③ 状況を具体的にお書きください

・特にない。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：【いくつかの事例を記載いただいても構いません。大学や地域との連携、PTA や外部人材の活用、その取り組みがある一定のスパンのもとに実施されているか（前後の授業や活動などと、どのようにリンクしているか）、地域（公立学校など）へ還元されているかなどについても、わかりやすく記載してください】

【大学や地域と附属小学校との双方向での教育課題の解決】

- ① 富山県教育委員会、富山県小教研、富山市小教研等の主催で開催される研修を中心に課題となる情報を教科等毎に収集・整理し、本校の研究全体会で内容を共通理解する。このことを踏まえ、研究主題や研究内容に盛り込み、授業モデル及び理論を提示する。
- ② 共同研究プロジェクトを充実する。



地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：（一般論ではなく、できるだけ、具体的な状況が理解できるように記載してください）

・参観者や研究生の受入れや指導、教育関係諸機関からの要請による教員派遣など、教育界の発展に貢献している。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：（現在、この国では少子化の中、少し広域に見るとミッションの重なる教員養成系大学、教育実習の場、教育研究校が存在し、そのような中、教員養成数の削減、そのための場の削減、ひいては附属学校の存在意義までが議論されています。そのような現実の中、一般論ではなく、できるだけ、貴校の実績にもとづいて、この国に附属学校が、この国および地域に貴校が、必要であることをアピールしてください）

・教育の理論及び実践に関する研究を行う。また、学部等と共同して先導的、実験的な研究を行い、それらを通して教育界の進展に寄与している。

・教員の質的向上を学生の段階で図るために、有効な方策の一つは教育実習である。理論と実践の場の提供及び学生の意識や質を高める上で、附属学校の存在意義は重要である。一般協力校における教育実習では、教員の負担が大きい。現在の附属学校には、これまで培ってきたノウハウと実績がある。そのような人づくりのシステムを使うことがないのは、それこそ無駄である。